

---

# 主人公じゃない主人公の物語

sisi

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

主人公じゃない主人公の物語

### 【Nコード】

N2130Y

### 【作者名】

S i s i

### 【あらすじ】

西尾維新先生の作品の二次創作です。基本はめだかボックスですが戯言、化物語の世界観なども共有する予定です。ただ作者は初心者なので年齢などつじつまが合わないなどのことが起きると思いますがそこはめだかボックスの世界に似た世界ということでご容赦下さい

## 救われぬ者に救いの手を差し出す者（前書き）

初心者ですのでダメな所が多々あるでしょう。で色々感想なので教えて下さい。

ただ、作者は心が弱いのであまりキツくいうのは辞めて下さい。

## 救われぬ者に救いの手を差し出す者

真っ白な空間にいつのまにか僕はいた。

そして、周りには、他にも何人か僕と同じで状況が分かってなさそうなひとがいるなかでここが何処だか知ってそうな人もいる。

そして、僕達の目の前には黒髪で美人といっても遜色がない女性がいた。

そして、彼女が僕達に話しかけてきた。

「やあ、君達初めまして」

「僕の名前は安心院なじみだ」

「親しみをこめて安心院さんと呼びなさい」

「くれぐれも安心院と言わないでくれよ」

「そう呼ぶのは敵だけだからね」

「あと、名前もやめて欲しいな。」

「名前は彼等だけに読んで欲しいし…。」

「まあ、それは置いといて今回見て欲しいのはある男の子の物語なんだ」

「彼の人生はとても波乱万丈だ」

「しかし、彼はとても強かった」

「いや、腕つぶしのことじゃあないよ」

「彼も弱くはないけど僕には勿論、彼の周りにいる子達よりも実力は下だしね。」

「まあ、実力は…だけどね」

「彼が強いのはね、心なんだ…。」

「彼の周りにいる子達も多かれ少なかれ彼のそんな強い心に助けられた子がほとんどだ」

「まあ、僕もそんな彼に助けられた内の一人なんだけどね」

「僕は前にね、ある子達のことを主人公と称したことがあるんだ」

「まあ、彼女達は否定しけどね、いや否定というよりも主人公よりもヒロインの方がいいと言ってただけか…。」

「全く彼女達には呆れたものだよ」

「彼はね、言うなれば主人公の親友なんだよ」

「彼の戦い方、考え方はほとんどが主人公じゃない」

「彼は自分の為なら何でもするし自分が好意的に思える人がなにをしても助けようとする」

「例えそれで、関係ない奴が死んでも気にしない。」

「だって、彼は自分が気に入ってる空間さえ守ればいいから。」

「例えば王道の漫画で魔王が勇者に世界の半分をやると言われたとするよ」

「王道の主人公なら断って仲間と一緒に傷つきながらも戦いうよね？」

「けれど、彼は違う。」

「仲間が傷つくぐらいなら彼は人を売る。仲間以外をね…。」

「もちろん、彼に無意味に人をいたぶって喜ぶ趣味はないから仲間じゃなくてもひどく扱わないだろうけどね」

「こんなことは主人公ならしないよね」

「ほかに例えるとしたら仲間か世界どっちを救うっていう話もあるよね」

「主人公なら迷いながらも両方救うを選ぶよね？」

「彼なら迷わず仲間を助ける。」

「そして、世界が滅んでも仲間たちだけは最低前助かるようにする」

「例え、それでほかの数十億もの人間が滅んでも彼は仲間を選ぶ」

「ふふっ、これだけ聞くと何か悪役みたいだね。」

「ほら、娘を救うために世界を巻き戻そうとする組織のボスとかいるじゃないか？」

「まるで、それだよね」

「まあ、言葉で説明するのは難しいからさ、さっき言ってたみたいに彼の人生をみてもらうよ」

「え、何のために見せるんだって？」

「そんなの彼の良さを世界に広げるためじゃないか」

「彼はね、本当に素晴らしいんだよ。」

「僕は彼の為だったらなんだってするよ」

「まあ、彼にそんなこと言ったら呆れたり怒ったりするだろうけどね」

「まあ、のろけっぱいのは止めにしよう」

「じゃあ、見せるよ」

「」

そうして僕は白い光につつまれた。

そして、目を開いたら見えたのは小さい男の子だった。

**救われぬ者に救いの手を差し出す者（後書き）**

どうだったでしょうか？次回は主人公を出して主人公の視点で行きたいと思います。

誤字、脱字有ったら教えて下さい。暇な時に直します。



## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2130y/>

---

主人公じゃない主人公の物語

2011年11月4日17時13分発行